

小風 秀雅 / KOKAZE, Hidemasa

文化科学系 / 文教育学部人文科学科

<http://researchers.ao.ocha.ac.jp/6240009409.html>



■ 研究者情報

連絡先

Email: kokaze@cc.ocha.ac.jp / TEL: 03-5978-5175

専門分野

近代日本史

■ 研究成果情報

歴史遺産の保存と活用・文化財の再評価

キーワード

世界遺産、産業遺産、近代化遺産、アーカイブズ、国際日本学

研究内容

■ 概要（背景・目的・内容）

世界遺産の登録に関心が集まっています。

文化庁の世界遺産特別委員会委員として、日本の世界遺産候補リストの選定に携わるなかで、歴史遺産は人類の財産である、という視点から、保存と活用のバランスをはかりつつ、後世に残していくことが現代のおおきな課題と感じています。

歴史や文化の観点から、新しい遺産の価値を発見すること

遺産の価値を正確に評価すること

遺産の意味を広く伝えること

にこころがけ、経済産業省や地方自治体での活動などを通じて、歴史学の立場から、文化財保護のあり方を考えていきたいと思っています。

特許・著作物等の知財情報、製品化情報、あるいは社会貢献実績

文化庁の世界文化遺産特別委員会委員および同委員会産業遺産担当の第3ワーキンググループ座長
文化審議会文化財部会第三専門調査会委員

文化庁近代遺跡検討委員会委員

新潟県世界遺産検討委員会委員長

九州山口世界遺産専門委員会委員

長崎市端島等検討委員会委員

日光市教育委員会足尾銅山世界遺産検討委員会委員

東京都文化財保護審議会委員

神奈川県文化財保護審議会委員

福岡県世界遺産検討委員会委員（以上、現職）

経済産業省近代化産業遺産選定委員会委員（2008年まで）

産学官・社会連携の可能性

■ 共同研究／技術提供／知見の教授・共有（公開講座、ワークショップ等の実施／出版／その他）

世界遺産をはじめとして、文化財保護に関する社会的関心が高まっており、地域活性化の起爆剤としての期待も大きくなっている。とくに近代における文化財については、これまでの文化財行政ではあまり取り上げられてこなかったこともあり、注目されている分野である。

国や地方自治体のみならず、所有者である企業や地域のNPOなども活発な活動を展開している事例も増えているが、残念ながらこの分野の専門研究者は極めて少ないのが現状であり、十分な歴史的評価が与えられないままに放置されている文化財も少なくない。こうしたギャップを埋めることで、有形・無形の文化財を掘り起こし、地域の活性化につなげるとともに、十分な保護措置を講じていくため、国・地方自治体などの連携をより深く進めていくことは、今後の文化行政にとって非常に重要な課題であることができる。こうした社会連携は今後ますます広がりをみせるであろう。そのための専門的知識を有する人材養成も、大学に課せられた課題であり、その必要性は拡大していくと考えられる。こうした分野における専門研究者として、本学での人材養成に力を入れて行きたい。